

ガソリン税の暫定税率と道路特定財源に関する 福田総理の提案に対する会頭コメント

京都経済界としては、遅れている道路整備を早急に進めてもらうために道路特定財源を維持してもらいたいが、このまま暫定税率の期限切れを迎えれば、国民生活や地域経済が多いに混乱するのは確実だ。野党は生活者の視点に立ち戻り、この新提案を真摯に受け止め、まずは暫定税率を維持した上で、来期に行われる税制抜本改革の協議の中で自らの主張を打ち出し、徹底して議論すればいい。

いずれにせよ、暫定税率の期限切れを回避するため、可及的速やかに与野党が歩み寄ることを期待する。

平成20年3月29日

京都商工会議所
会頭 立石 義雄